

PTA とちぎ

PARENT TEACHER ASSOCIATION

とちぎPTA新聞206号

発行/栃木県PTA連合会

〒320-0066 宇都宮市駒生1-1-6

栃木県教育会館内

TEL 028(622)2833

FAX 028(622)2834

E-mail / info@tochigi-pta.jp

印刷/松井ピ・テ・オ・印刷



栃木県PTA連合会
ホームページ

スローガン 子どもたちと同じ目線で向かい合い 全ての人が笑顔になれるPTA

子どもたちのため、学校、地域のために日夜頑張っている皆様と心を共に、今年度もしっかりと前を向いて「誰でもできる」持続可能なPTAの実現を、そして栃木県全体に笑顔を広げることを目指し取組を推進してまいります。引き続き温かいご理解と、熱いご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

以前、私は、「一人でも多くの人を笑顔に」を胸に活動を行ってきました。昨年会長を拝命してからは、「一人でも多くの人」という考えから、「全ての会員の皆さん、全ての方々を」笑顔にする。そう思うようになってきました。絵にかいた餅かもしれませんが、これは私の究極の目標であり願いです。



二年目の誓い「笑顔を広げるために」
会長 揚石 哲司

令和5年度 栃木県PTA連合会 定期総会
令和5年6月11日(日)
栃木県教育会館大ホール
新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月8日をもって「5類感染症」に引き下げられました。感染症の注意喚起は怠らず、しかしながら、活動の制限は緩和され、新しい様式での学校生活、PTA活動が徐々に再開されてきております。今年度の総会は、議決権者である代議員が約1000名いる中で、約半数の500名近い皆さまが会場に出席。158名の書面表決の提出を受け、総会が執り行われ、全議案が無事審議可決となりました。2年目となる揚石会長の力強いご挨拶の中に、笑顔とその優しさに、今年度の活動へのさらなる期待が高まった総会となりました。



現在、県内には6校の義務教育学校がありますが、本号では、今年度4月に開校しました那須塩原市立箒根学園にフォーカスをあてました。

那須塩原市立箒根学園は、令和5年4月1日より、小学校3校と中学校1校が統合し、義務教育学校として開校しました。学校が統合するという事は、歴史と伝統ある学び舎がなくなり、在籍していた児童生徒や卒業生、その地域にお住まいの方々にとりましては、言葉にならない感覚があるのかと推察できます。新年度のスタートにあたっては、ほとんどの保護者の皆さんが学校環境や友人関係等について我が子に対して思うように、箒根学園の保護者の皆さんも同様に、また、それ以上に心配事があったのではないかと考えます。通学の道のり、送迎の形態、スクールバスの利用、小学生と中学生の関り、学校行事の持ち方、そんな事が想定できます。校長先生にお話を伺う中で、こうした心配事に対し適切にご対応され、義務教育学校ならではの小学生がともに学び合える特色ある取組も計画・実践されていきました。そして、日々児童生徒の状況を把握し、安全・安心を第一に取り組みされてお

りました。現在、コロナ禍での制限が解除され少しずつPTA活動も再開されていますが、4校のPTAが新しく1つになり、さらに、児童と生徒が在籍する学校を支援するPTAを作るといことは、準備期間があるとはいえ、どのような苦労があるのかは想像が付きません。今度は保護者の皆さんからもお話を聞かせたいと思います。

また、地域の活動に対し、学校でボランティアを募り積極的に参加させていくお話がありました。箒根学園の保護者(PTA)、学校、教職員、新たに箒根学園のエリアとなったその地域と連携し活動をしていこうとするお姿に、強いリーダーシップを感じる。とともに、PTAという組織が、学校と地域、地域と子どもたちを結びつけるのに必要不可欠な存在であると改めて認識しました。



さらに、義務教育の9年間だけでなく、この地域の「未来の担い手」を育成するという考え方は、「町おこし」に結びつくものであり、それを4校が統合した広域なエリアで実践する機会があるという事は、箒根学園の強みであると感じました。地域との連携を密にし、子どもたちが活動に参加し学ぶ経験は、社会に出るまでに身につけなければならぬ「生きる力」を学ぶ機会を提供になるものと実感しました。

「とちぎ未来アシストネット事業」のさらなる発展を目指して
栃木市PTA 連合会事務局
栃木市では、学校・家庭・地域の連携を深め、地域ぐるみで子どもたちの「生きる力」を育てるために、「とちぎ未来アシストネット事業」を行っています。この事業の推進により、学校支援ボランティア活動が活発に行われています。また、地域におけるボランティア活動も進められ、地域の絆づくりにつながっています。

この度、研究PTAの委託を受け、栃木市PTA連合会では、学校・家庭・地域のつながりのうち、家庭と地域の連携に視点をあきました。本市の各地域の特色ある取組について情報共有すること、家庭と地域の連携強化につなげていきたいと考えています。学校を核に家庭と地域が連携することは、保護者にとりましては、家庭教育支援環境の充実につながります。また、地域にとりましては、地域を支える新たな担い手づくりにつながります。そして、多様な価値観をもつ大人たちや地域課題に触れることで、子どもたちの社会参画意識を育むこともできます。



本市の各地域の取組を情報交換するアシストネット推進委員会の取組として、学校行事のサポートを保護者と学校支援ボランティア、双方に呼びかける取組が紹介されました。この取組は参加者に好評だったとのこと、今後も保護者と学校支援ボランティアが関わる機会を模索していきたい、とのことでした。

2023年8月現在の内容です。

制度引受保険会社
AIG損害保険株式会社 宇都宮支店
電話：028-346-4100
取扱代理店
株式会社 栃木保険
電話：028-643-6611
受付時間 9:00~17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)
S-230563(2024-09)

栃木県PTA連合会保障制度

～子ども総合保険～

- ・県PTA連合会が毎年保護者にご案内している大切なお子さまのための保障制度です。
- ・お申込みは毎年3月です。パンフレット(ご案内書・お申込書類一式)は3月に学校から配布されます。
- ・詳細につきましては引受保険会社または、代理店にお問い合わせください。

第71回日本PTA 全国研究大会広島大会

令和5年8月25〜26日

副会長 田中 健

新型コロナウイルス感染症の対策も緩和され、さまざまな活動において新たな一歩が踏み出し始められたこの時に、「変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を！」見つけ考えかわろうやぶち楽しんで!! 広島から全国へ」のテーマのもと行われた、今回の日本PTA全国研究大会広島大会に参加させていただきました。

今まで当たり前だったことが、新型コロナウイルス感染症の影響や時代の変化で通用しなくなってきた今、同じ課題に直面している全国のPTAの仲間たちが集い、解決に向け真剣に学ぶ姿に私自身勇気づけられました。また、「できない」ではなく、「できること」が何かを見つけ、対策を考え解決していく重要性を学ばせていただきました。

人工知能研究者でもある黒川伊保子氏の講演では、AI分析を通してながら、人と人のつながりを研究されたお話を通し、お互いの個性を認めながら人とのつながり方を教えていただきました。PTA会員とのつながりや、子どもとの向き合い方など多くのことを学ぶことができました。

今回の大会を通し、「学びの変革」という大切さを感じさせていただいたとともに、暑い中、広島の方々の心からのおもてなしに感謝申し上げます。



学びの変革

第3分科会 地域連携

学校教育と地域の連携をどう進めていくか

子供の成長を地域と共に

「風と土の力」

情報委員 菊地 芳弘

学校と地域との架け橋となるべく私たちPTAの役割はとて大きいと感じています。基調講演後の「地域の中に学校を学校の中に地域を」をモットーに取り組みされている府中市の実践発表に感銘しました。学校と地域で共に子を育む取組が多く紹介され、また、異動がある教職員と地域の教育力を、「先生は風の人。地域は土の人。」と表現し、子どもたちの育成には、風と土の力が必要であり、持続可能な仕組みとなるよう、更にコミュニケーションを発展させていくことが不可欠であるとの話がありました。改めて地域連携の大切さを認識しました。



持続可能な地域連携

第6分科会 防災教育

予期せぬ災害から大切な命を守るために

今、できることを考えておくべきこと

「災害対策にPTAとしてできること」

副会長 揚石 達也

今回、豪雨災害を受けた広島ので壊滅的被害を受けた方々の話を伺い、どれも心を締め付けられるお話でした。内容としては、常に最新の防災情報を得ることの重要性。災害時に拠点となりやすい学校と地域の架け橋には、PTAの平時からの活動やコミュニケーションが絶望的状況下において必要になると学びました。



災害に負けないために

PTAに対する想いを聞いちゃいました

みんなで少しずつ

小山市立大谷北小学校 校長 田村 浩一



本校のPTA活動の1つに、「一人一回お手伝い」があります。これは、PTA会員の方にお手伝いいただきたいことをお知らせし、年度内に1人一回、お手伝い活動に参加していただくという活動です。コロナ禍においては、この活動も中止せざるを得ませんでしたが、本校ではPTA各委員会の活動と連携させ、役員以外の方も参加できる方法を考えて取り組んでいます。今年度も、すでに清掃活動等を行いました。

子どもたちの笑顔のために

那須塩原市立豊浦小学校 PTA会長 渡邊 清光



昨年、豊浦小学校では新型コロナウイルス感染症がいつ収束するか分からない中で子どもたちが楽しく学校へ行くにはどの様な事が出来るかPTAで話し合いました。色々な案が出た中で、子どもたちが好きな戦隊ヒーロー(わんぱく戦隊なしおレンジャー)になることにしました。準備して始業式に子どもたちの前に立ち、大きな声であいさつしハイタッチ。子どもたちの笑顔をみて私もほっこりしたのを覚えています。また、下



なしおレンジャーとみるひい



PTA清掃活動

こうした取組の背景には、「みんなで少しずつ」を合言葉に「北小の子どもたちのために力を合わせて」というPTAの方々の熱い「思い」があります。できる活動を考え、実施し続けてくださるPTAの皆さん、本当にありがとうございます。この場をお借りし、深く感謝申し上げます。そして、こうしたPTAの皆さんの「思い」とともに、今後も、「本校ならではの」PTA活動に取り組みたいと思います。

読みとなる広報紙のために

PTA広報紙編集講習会

令和5年6月21日(水) 栃木県教育会館において、県内の広報紙担当者を対象に、開催しました。

講師は萩原正則氏(下野新聞社編集局記者)と菊池京子氏(元生活情報マガジン「トチベ」編集長)の2人をお招きし、記事を書く際の心得から技術的なことまで、楽しく学びました。

参加者の多くからは「敬遠されがちな広報紙作成は、古い慣例にとらわれず「面白い」に変えていくことができる」と感想をいただきました。

工夫を探す楽しさと新しい視点のきっかけにもなる有意義な講習会でした。



子育てセミナー2023

日時 令和5年11月12日(日) 13時〜15時

場所 栃木県教育会館 大ホール 講師 黒川伊保子氏 株式会社感性リサーチ 代表取締役社長 人工知能研究者

テーマ「しあわせ脳に育てよう」日本ネーミング協会理事



問い合わせ先 栃木県PTA連合会事務局 028(622)2833 ※講演会の模様は、後日動画配信も致します。詳細は県Pホームページをご確認ください。

編集後記

情報副委員長 針谷 伸一

とちぎPTA新聞206号、お楽しみいただけただでしょうか。「本紙だけが県内全会に届く栃木県PTA連合会の資料である」ということを意識し、有意義な内容で、かつ楽しく読んでいただくために情報委員会では知恵を出し合い、特色ある学校にフォーカスをあてインタビューを試み、取り入れました。「受け手の立場に立って考えること」。物事を円滑に進めるには必要不可欠な配慮ですが、この広報紙作りを通してその大切さを改めて感じることができました。本紙がPTA活動に取り組み皆さまの助けになれば幸いです。

栃木県PTA連合会推薦図書
初版から40年以上にわたるご愛顧 ありがとうございます

「新しい常用漢字辞典」 「改訂 熟語辞典」
「改訂 ことわざ・慣用句・四字熟語辞典」

教育図書学参部 TEL/FAX(無料) 0120-963-180

栃木県PTA教育振興会

PTA活動補償制度は、PTA行事参加中の万のおケガ(傷害)や賠償事故に備え、安心してPTA行事に専念していただくための制度です

《PTA団体傷害保険》 PTAが主催・共催する行事に参加中にPTA会員とその同居の親族、PTAが事前に参加を認めた方や児童・生徒が急激かつ偶然な外来の事故によるケガで医師の治療を受けた場合、保険金をお支払いします。但し、独立行政法人日本スポーツ振興センターから給付が行われた場合は対象となりません。

《PTA賠償責任保険金》 PTAが主催の活動で、他人の身体、財物に損害を与え、PTAが法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金をお支払いします。

《問合せ先》 取扱代理店 株式会社 栃木保険 TEL.028-643-6611

栃木県PTA活動補償制度